

令和6年7月25日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員

種目 音楽(一般)

代表者 呉市立広南中 学校

氏名 泉谷 正則

呉市教科用図書（中学校・義務教育学校（後期課程））調査・研究

報告書について（報告）

このことについては、別添のとおりです。

【音楽（一般）】

観 点	知識及び技能の習得
視 点	①表現領域の知識及び技能の習得を図るための工夫
方 法	○歌唱分野における知識及び技能に関する記載及び具体例

発行者	調査・研究内容
教出	【歌唱分野における知識及び技能に関する記載及び具体例】 第1学年 「Sing! Sing!」 ○ 歌うための準備 ・ 歌うための姿勢 ・ 息のコントロール ・ 母音の発音 ○ 言葉の発音について ・ 歌詞の言葉を表現する際には、子音や母音の発音の仕方を意識しましょう。「ガ行」の音は「鼻濁音」で発音する場合があります。 ○ 変声と混声合唱 ・ 変声（声変わり） ・ 混声合唱のパートについて ・ 声部の役割 第2・3学年上 「Sing! Sing!」 ○ 歌うための準備 ・ 歌う前のストレッチ（首の周りをほぐそう、脇腹を伸ばそう、肩をリラックス）
教芸	【歌唱分野における知識及び技能に関する記載及び具体例】 第1学年 「My Voice!」 ○ 自分の歌声を見つけよう ・ 準備（姿勢と呼吸） （バランスのよい姿勢、呼吸は歌声の命） ・ 歌声づくり （豊かな響きのある歌声） ・ 声の出る仕組み ・ 変声期 第2・3学年上 「My Voice!」 ○ 自分の思いを歌声にのせよう ・ スムーズな息の流れに歌声をのせるには ○ 鼻濁音 ・ 鼻濁音を使って柔らかな響きで

	第2・3学年下 「My Voice!」 ○ 豊かな歌声で、気持ちをこめて歌おう ・確認しよう (姿勢と呼吸、息の流れ、響かせ方)
--	--

【音楽（一般）】

観 点	知識及び技能の習得
視 点	②鑑賞領域の知識の習得を図るための工夫
方 法	○鑑賞領域における知識に関する記載

発行者	調査・研究内容
教出	【曲名及び作曲者】 第1学年 「和声と創意の試み」第1集「四季」から「春」第1楽章 アントニオ・ヴィヴァルディ 【楽譜の扱いについて】 ○ ソネットごとに旋律の一部の楽譜を掲載し、リトルネッロ部とエピソード部を楽譜の上に示し、リトルネッロ部の前半と後半にそれぞれ色を付けて示している。また、楽譜の上にソネットを示している。 【楽曲に関する内容について】 ○ リトルネッロ部とエピソード部について説明し、リトルネッロ形式について表で示している。 ○ 「「四季」ってどんな曲集？」として、「四季」に関する内容などについてイラストとともに示している。 ○ 「「四季」楽器編成について」として、写真を掲載し、写真の中に楽器名を示し、説明している。 【時代について】 ○ 「ヴィヴァルディの時代」として、ヴィヴァルディの時代と同時期の日本の時代等について並記し、図で示している。
	【曲名及び作曲者】 第2・3学年上 交響曲第5番 ハ短調 作品67 ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン 【楽譜の扱いについて】 ○ 第1楽章、提示部の第1主題、第2主題、展開部、再現部、第2楽章、第3楽章、第4楽章の冒頭及び各楽章の中でリズムの動機が現れる部分の楽譜を掲載している。 ○ 楽譜の上部や下部に演奏楽器を示している。 ○ 掲載している楽譜の中のリズムの動機の部分に色を付けて示している。 【楽曲に関する内容について】 ○ 「第1楽章の構成について」として、ソナタ形式について、楽譜の左側に図を示し、説明している。 ○ 「それぞれの楽章に現れるリズムの動機」として、第2楽章～第4楽章のリズムの動機について説明している。 ○ 「ここに着目！」として、楽譜を枠で囲んでいる。 ○ 交響曲（シンフォニー）について、写真を掲載し、オーケストラの配置の例について、図を掲載し、それぞれ説明している。 【時代について】

	○ 「ベートーヴェンの時代」として、ベートーヴェンの時代と同時期の日本の時代等について並記し、図で示している。 【曲名及び作曲者】 第2・3学年下 ブルタバ（モルダウ）連作交響詩「我が祖国」から ベドルジフ・スメタナ 【楽譜の扱いについて】 ○ 移り変わる情景を表現した旋律の冒頭部分の楽譜の一部を掲載し、楽譜の上に主に演奏している楽器を示している。 【楽曲に関する内容について】 ○ 全曲構成として、連作交響詩「我が祖国」の第1曲から第6曲の曲名を示し、「第2曲ブルタバ（モルダウ）」に色を付けて示している。 ○ 現在のヨーロッパとブルタバ川（モルダウ川）について、地図を掲載している。 ○ 交響詩について、説明している。 ○ 「この曲に寄せる作曲者の解説」として、作曲者の解説を示している。 【時代について】 ○ 〈スメタナの時代〉として、スメタナの時代と同時期の日本の時代等について並記し、図で示している。
教芸	【曲名及び作曲者】 第1学年 「春」第1楽章（「和声と創意の試み」第1集「四季」から） A. ヴィヴァルディ 【楽譜の扱いについて】 ○ ソネットごとに旋律の一部の楽譜を掲載し、リトルネッロ部に色を付けて示している。また、楽譜の上にソネットを示している。 【楽曲に関する内容について】 ○ 「イタリアの気候と「四季」」として、地図を掲載し、説明している。 ○ 「Challenge!!」として、「夏—第3楽章」「秋—第3楽章」「冬—第2楽章」のそれぞれのソネットを示している。 ○ 「四季」の演奏として、写真を掲載し、写真の中に楽器名を示している。 【時代について】 ○ 「「+α」この頃、日本では…!？」として、ヴィヴァルディの時代と同時期の日本の時代等について図で示している。 【曲名及び作曲者】 第2・3学年上 交響曲第5番 ハ短調 L. v. ベートーヴェン 【楽譜の扱いについて】 ○ 第1楽章第1主題、第2主題、提示部の終わりの部分、展開部の始めの部分、展開部の途中の部分、再現部の始めの部分、コーダの途中の部分の冒頭の一部の楽譜を掲載している。また、楽譜の左横に演奏楽器を示している。 ○ 第2楽章、第3楽章及び第4楽章においては、主題について一部の楽譜を掲載す

るとともに、楽譜の上に演奏楽器を示している。

- 掲載している楽譜の中の動機の部分について、色を付けて示している。

【楽曲に関する内容について】

- 第1楽章の楽譜の左側に縦軸でソナタ形式について示し、説明している。
- 交響曲について、説明している。また、他の作曲者の交響曲の作品を示している。

【時代について】

- 「「+α」この頃、日本では…！？」として、ベートーヴェンの時代と同時期の日本の時代等について図で示している。

【曲名及び作曲者】

第2・3学年下

ブルタバ（モルダウ）（連作交響詩「我が祖国」から）

B. スメタナ

【楽譜の扱いについて】

- 標題ごとに冒頭部分の楽譜の一部を掲載し、楽譜の上に主に演奏している楽器を示している。
- 掲載している楽譜の中のブルタバを表す旋律について、色を付けて示している。
- 「「我が祖国」の第1曲「ビシェフラト」の主な旋律」として、楽譜の一部を掲載している。

【楽曲に関する内容について】

- 「ブルタバ」が作曲された当時のヨーロッパ、現在のヨーロッパ、ブルタバ川（チェコ）の地図を掲載している。
- 注釈で、交響詩について、説明している。
- 作曲者自身による解説を掲載している。
- 「受け継がれる祖国への思い」として、写真を掲載し、説明している。

【時代について】

- 「「+α」この頃、日本では…！？」として、スメタナの時代と同時期の日本の時代等について図で示している。

【音楽（一般）】

観 点	知識及び技能の習得
視 点	③題材の学習目標等の示し方
方 法	○学習目標等の表記の仕方の具体例

発行者	調査・研究内容
教出	【学習目標等の表記の仕方】 ○ 教科書冒頭に、見開き 2 ページで「学習MAP」を設け、育成を目指す資質・能力を領域・分野ごとに示している。また、育成を目指す資質・能力と教材名、領域・分野の相互のつながりも明記している。 ○ 教材ページの端に縦書きで題材名、教材名の下に活動のポイントを示している。 【具体例】 ○ 題材名 歌舞伎の豊かな表現を鑑賞しよう。 ○ 教材名 歌舞伎「勧進帳」（第 2・3 学年下） ○ 活動のポイント ・歌舞伎の音楽の役割や効果を考えながら鑑賞しよう。 ・音楽の特徴を舞台の表現と関わらせ、多様な表現を聴き取ろう。
教芸	【学習目標等の表記の仕方】 ○ 目次に続くページに、見開き 2 ページで、育成を目指す資質・能力と、それに対応する領域・分野ごとの学習内容や教材を示している。 ○ 教材ページの端に縦書きで学習目標、教材名の下に活動文を示している。 【具体例】 ○ 学習目標 歌舞伎に親しみ、その音楽を味わおう。 ○ 教材名 歌舞伎「勧進帳」（第 2・3 学年上） ○ 活動文 ・「勧進帳」は、日本の伝統芸能である歌舞伎の作品です。 ・声や楽器の音色、旋律の特徴などに気を付けながら、長唄のよさや美しさを味わって聴きましょう。 ・音楽、舞踊、演技が一体となった歌舞伎のよさや美しさを味わいましょう。

【音楽（一般）】

観 点	思考力、判断力、表現力等の育成
視 点	④音楽表現を創意工夫させるための工夫
方 法	○創作分野における音楽表現を創意工夫する学習の具体例

発行者	調査・研究内容
教出	【創作表現を創意工夫する学習の具体例（第1学年）】 音のスケッチ 日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう ○ 活動のポイントを示している。 ・言葉のつながり方を工夫して、短い旋律をつくろう。 ・言葉のリズムやまとまりを意識して、イメージに合う音を選ぼう。 ○ 6つの活動を設定し、活動④から活動⑥は、活動①から活動③の内容を書き込む欄を設けている。 ・活動① 七五調の短い歌詞をつくって、リズムをつけてみよう。 ・活動② 言葉の抑揚を線で表してみよう。 ・活動③ 言葉の抑揚にそって、「ミ」「ソ」「ラ」の音をあてはめ、五線にも書き写してみよう。 左ページの「活動①」～「活動③」を参考にして、次の「活動④」～「活動⑥」の順番で旋律をつくってみよう。 ○ 「チャレンジ」として、更に創作する活動を設定している。 ・音を「レ」「ミ」「ソ」「ラ」「ド」に増やしてつくってみよう。終わりの音も工夫してみよう。 ○ キャラクターの吹き出しで、活動の指示を示している。 ・自分で何度も声に出して読んでみましょう。 ・身近にある楽器で音を確認しながらつくりましょう。できあがった作品は、みんなで聴き合ってみましょう。 音のスケッチ 全体の構成を考えながら音楽をつくろう ○ 活動のポイントを示している。 ・言葉のつなげ方や重ね方、全体のまとまりを工夫して音楽をつくろう。 ・言葉のリズムを意識して、ストーリーを表す言葉を選ぼう。 ○ 「はじめに」として、言葉の例を示している。 ・はじめに 日本語には、自然や動物、物などが発する音や、様子を表す言葉がたくさんあります。 ○ 6つの活動を設定し、活動④から活動⑥は、活動①から活動③の内容を書き込む欄を設けている。 ・活動① 5～6人のグループになり、表現したいテーマを決め、さまざまな言葉で表してみよう。

	・活動² 「活動¹」で表した言葉をカードにして、繰り返したり重ねたりしてテーマを表現してみよう。 ・活動³ テーマにそった簡単なストーリーを想像し、構成や言葉の重ね方を工夫して、イメージに合った音楽をつくろう。始め方と終わり方も工夫しよう。 左ページの「活動¹」～「活動³」を参考にして、次の「活動⁴」～「活動⁶」の順番で音楽をつくってみよう。 ○ 「もっと楽しもう」として、更に創作する活動を設定している。 ・もう一度、簡単なストーリーや集めた言葉を検討し、交流したことを参考に作品をつくり直してみよう。 ○ キャラクターの吹き出しで、工夫の仕方を示している。 ・表現した言葉のどれかに、楽器の音を重ねたり動作を加えたりすると、さらにおもしろくなるね。
教芸	【創作表現を創意工夫する学習の具体例（第1学年）】 「My Melody」創作一音のつながり方 ○ 活動文を示している。 ・課題や条件に沿って、創意工夫して旋律をつくりましたよ。 課題や条件 ① リズムチャレンジでつくったリズムを使って、4分の4拍子、4小節の旋律をつくる。 ② 表したいイメージを考え、そのイメージを表現するために、上行、下行、順次進行、跳躍進行などの音のつながり方を工夫する。 ③ ハ長調のⅠ－Ⅳ－Ⅴ－Ⅰの和音の動きに合わせてつくる。 ○ 「Warming up」として、音のつながり方の特徴を考える活動を設定している。 ・「主人は冷たい土の中に」(p. 18)の冒頭部分を例に、下に示した音のつながり方を確認し、どのような感じがするかを話し合ひましょう。 ○ 5つの活動を設定するとともに、活動③ではワークシートを示している。 ①リズムチャレンジ (p. 17) でつくったリズムを右の「ワークシート」の「ア」に書きましょう。 ②Ⅰ－Ⅳ－Ⅴ－Ⅰの和音の動きに合わせて「ア」のリズムを手拍子で打ったり口ずさんだりしながら、どのような旋律をつくりたいかイメージしましょう。 ③②のイメージをもとに音のつながり方を工夫しながら旋律をつくって、「ワークシート」の「イ」に書きましょう。また、工夫した点を「ウ」に書きましょう。 ④中間発表をして、つくった旋律について意見交換をしましょう。 ⑤意見交換したことを参考に旋律を完成させて、もう一度発表しましょう。 ○ キャラクターの吹き出しで、考える観点や工夫の仕方を示している。 ・2小節の2分音符に向かって跳躍進行で大きく上行したからハッとしたよ。 ・しかも1小節目のリズムが細かったから、2分音符がよりのびやかに感じられたね。 ・自分がつくりたい旋律のイメージに近づくように、リズムを変えてもいいよ。 ・自分がつくりたい旋律のイメージを表現するために、声に出したり、楽器で演奏したりして音の動きを確かめながらつくろう。

「Let's Create!」創作—音素材の特徴と構成—

- 活動文を示している。
 - ・ 課題や条件に沿って、創意工夫して音楽をつくりましょう。
 - 課題や条件
 - ④ はじめ 中 終わり の場面を設定する。
 - ⑤ 音素材の特徴を生かして、場面のイメージを表す。
 - ⑥ 反復、変化、対照などを用いて構成を工夫する。
- 5つの活動を設定するとともに、活動③ではワークシートを示している。
 - ① グループで話し合って下の2つの風景からどちらかを選び、自分たちが表したい場面を考え、ワークシートの「ア」「イ」に書きましょう。
 - ② グループで話し合って音素材を選びましょう。その際、①で考えた場面のイメージに合うか音を出して確かめながら、探しましょう。
 - ③ グループで話し合いながら強弱や構成を工夫して音楽をつくりましょう。つくった音楽は、右ページの「例」のように図形などを使って、ワークシートの「ウ」に書きましょう。また、①で考えた場面のイメージを表すために、音素材を選んだ理由や、構成を工夫した点を「エ」に書きましょう。
 - ④ 中間発表をして、つくった音楽について意見交換をしましょう。
 - ⑤ 意見交換したことを参考に音楽を完成させて、もう一度発表しましょう。
- キャラクターの吹き出しで、考える観点や工夫の仕方、活動の指示を示している。
 - ・ 自分たちで風景を考えてもいいよ。
 - ・ 「春」(p. 42)を参考にしてもいいね。
 - ・ 楽器の音色だけでなく、音の高低や長短、強弱などが演奏の仕方によって変わることに注目しよう。
 - ・ 「はじめ」と「終わり」の場면을、同じにしたらどうかな? 「はじめ」の音楽を反復させてみようよ。
 - ・ それはいい考えだね。最後は少し変化させて、演奏を工夫してみるのはどうかな。
 - ・ 私たちは林の風景を音楽にしました。晴れている林と雨の降る林の雰囲気の違いを、楽器の材質を変えて表現し、リズムは「はじめ」と「中」で対照的になるよう変化させました。
 - ・ 雨が上がった後の林の穏やかな感じが伝わってきました。「終わり」は「はじめ」と同じ音楽だったので、戻ってきた安心感があったのだと思います。

【音楽（一般）】

観 点	思考力、判断力、表現力等の育成
視 点	⑤音楽的な見方・考え方を働かせる工夫
方 法	○鑑賞領域における音楽を形づくっている要素の示し方及び学習内容の記載

発行者	調査・研究内容
教出	【扱われている音楽を形づくっている要素の示し方】 第2・3学年上 「ボレロ」 「音色」「リズム」「旋律」「強弱」「構成」 ○ 活動のポイントや学習活動の中で、音楽を形づくっている要素を使って示している。 【音楽を形づくっている要素を用いた学習内容の記載】 第2・3学年上 「ボレロ」 「構成」 ○ 曲の特徴や曲全体の構成を関わらせながら鑑賞しよう。 「リズム」「旋律」「構成」 ○ リズムや旋律の反復による曲全体の構成を聴き取ろう。 「リズム」「構成」 ○ 「ボレロ」は、AとBの二つの主題と小太鼓のリズムの繰り返しで、曲全体を構成しています。これらの反復を聴き取ってみましょう。 「音色」「リズム」「旋律」「強弱」 ○ さまざまな楽器の音色（おんしよく）や響き、リズムや旋律の繰り返し、曲全体にわたる強弱の変化などを意識して、もう一度鑑賞しよう。
教芸	【扱われている音楽を形づくっている要素の示し方】 第2・3学年下 「ボレロ」 「音色」「リズム」「旋律」「強弱」「構成」 ○ 学習目標の下に示すとともに、活動文や考えたいポイント、キャラクターの吹き出しの中に音楽を形づくっている要素を使っている。 【音楽を形づくっている要素を用いた学習内容の記載】 第2・3学年下 「ボレロ」 「リズム」「旋律」「音色」「強弱」 ○ 繰り返し演奏されるリズムと2つの旋律、音色や強弱の変化に注目しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴きましょう。 「リズム」「旋律」 ○ 繰り返されるリズムと2つの旋律は、どのように発展しているだろう。 「リズム」 ○ 小太鼓のリズムを打ってみよう。 「旋律」 ○ 旋律Aと旋律Bの繰り返しと、楽器の組み合わせの変化に注目しよう。 「音色」 ○ 金管楽器、木管楽器、弦楽器、それぞれの音色が聴こえるかな。

【音楽（一般）】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	⑥興味・関心を高めるための工夫
方 法	○資料や巻頭の内容

発行者	調査・研究内容
教出	第1学年 【資料の内容】 ○ コンピュータで表現しよう ・音楽制作アプリの例やコンピュータについて説明している。 ○ リコーダー運指表 ・リコーダーのイラストと楽譜、運指表を掲載している。 ○ コードネーム表〈基礎となる音をCとした主なコードの例〉 ・14種類のコードと和音を掲載している。 ○ 楽典 ・音符・休符、形式、三連符、拍子、調（長調と短調の音階、平行調）、主要三和音、各部の名称、音高の変化、奏法、速度や速度の変化、強弱や強弱の変化、反復について図や楽譜、表を掲載し、説明している。 ○ 郷土の民謡に用いられる楽器 ・郷土の民謡に用いられる楽器の写真を掲載し、各楽器について説明している。 ○ 弦楽合奏に用いられる楽器 ・弦楽合奏に用いられる楽器の写真を掲載し、各楽器について説明している。 ○ 日本とアジアのこと ・日本とアジアのことの写真を掲載し、各楽器について説明している。 【巻頭の内容】 ○ With My Heart 音楽はメッセージ 「私自身の一歩の行動力は好奇心です。」 ・ピアニスト 角野隼斗の言葉と写真を掲載している。 ○ 作者の思いにふれる「ちょっと待っていて。もうすぐ書き終える。」 ・フランツ・シューベルトに関する内容と自筆譜を掲載している。 第2・3学年上 【資料の内容】 ○ 私たちのくらしと音楽～音楽著作権について～ ・著作権について、著作物やMP3の扱いなどについて説明している。 ○ 劇場・音楽堂へ行こう！ ・神奈川県立音楽堂について写真を掲載し、説明している。 ○ リコーダー運指表（第1学年に同じ） ○ コードネーム表〈基礎となる音をCとした主なコードの例〉（第1学年に同じ） ○ 楽典（第1学年に同じ） ○ オーケストラの楽器 ・オーケストラの楽器の写真を掲載し、各楽器について説明している。 【巻頭の内容】 ○ With My Heart 音楽はメッセージ 「こんな音楽を聴きたい、演

	奏してみたい」という気持ちを大切に」 ・笙奏者 宮田まゆみの言葉と写真を掲載している。 ○ 作者の思いにふれる「芸術だけが私を踏みとどまらせたのだ。」 ・ルードヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェンに関する内容と自筆譜を掲載している。 第2・3学年下 【資料の内容】 ○ ポピュラー音楽図鑑 ・ブルース、ゴスペル、ジャズ、リズム・アンド・ブルース、カントリー・アンド・ウエスタン、フォーク、ロックについて説明するとともに、それぞれ代表的なアーティストの写真やイラストを掲載し、紹介している。 ○ 日本と西洋の音楽の歩み ・日本と西洋の年表、それぞれの時代について、写真を掲載し、説明している。 ○ コンピュータと音楽 ・コンピュータと音楽の関わりについて、イラストを掲載し、説明している。 ○ 音楽のチカラで人と社会を未来へつなぐ ・アウトリーチや音楽をととした教育活動について、写真を掲載し、説明している。 ○ 発展 音の三要素 ・音量、音高、音色（おんしょく）について説明している。 ○ リコーダー運指表（第1学年に同じ） ○ コードネーム表〈基礎となる音をCとした主なコードの例〉（第1学年に同じ） ○ 楽典 ・音符・休符、形式、三連符、拍子、同主調転調、主要三和音、各部の名称、音高の変化、奏法、速度や速度的変化、強弱や強弱の変化、反復について図や楽譜、表を掲載し、説明している。 ○ 肖像で見る音楽年表 ・音楽家の肖像を掲載し、各音楽家の主要な作品名と作曲時期等を示している。 【巻頭の内容】 ○ With My Heart 音楽はメッセージ 「音に対する感受性が膨らむと「想像力の羽ばたき」が始まります。」 ・指揮者 大野和士の言葉と写真を掲載している。 ○ 作者の思いにふれる「此道に資する所あらんとす」 ・滝 廉太郎の言葉と自筆譜を掲載している。
教芸	第1学年 【資料の内容】 ○ ルールを守って音楽を楽しもう！ ・著作権や音楽を利用するときに気を付けること、音楽が生み出される仕組みについてイラストや図を掲載し、説明している。 ○ 生活や社会の中の音や音楽 音や音楽が果たす役割 ・暮らしにおいて音や音楽の果たすさまざまな役割について写真やイラストを掲載し、説明している。 ・「見つけよう！学校の中の「気になる音」として、再生マークが入った写真を掲載し、説明している。 ○ 音楽を形づくっている要素

- ・音色やリズムなど音楽を形づくっている要素について、イラストや楽譜を掲載し、説明している。

○ 音楽の約束

- ・五線譜、音符・休符、拍子記号、音階（長調の音階、短調の音階、日本の音階）、音程、和音・コードネーム、曲の形式、いろいろな記号・用語について図や楽譜、表を掲載し、説明している。

【巻頭の内容】

○ 音楽の一員になれる時間

- ・俳優・歌手 上白石萌音の言葉と関連する写真を掲載している。

○ 音楽って何だろう 「一生を通して楽しむもの」

- ・宇宙飛行士 野口聡一の言葉と関連する写真を掲載している。

第2・3学年上

【資料の内容】

○ 生活や社会の中の音や音楽 人と人をつなぐ音楽

- ・さまざまな場面で音楽が人と人をつないでいることについて、写真を掲載し、説明している。

○ 音楽を形づくっている要素（第1学年に同じ）

○ 音楽の約束

- ・音階（長調と短調の音階、3種類の短音階、日本の音階）、音程・和音、曲の形式、音符・休符・記号・用語について図や楽譜、表を掲載し、説明している。

【巻頭の内容】

○ 今に生きる伝統

- ・歌舞伎役者 十代目 松本幸四郎及び八代目 市川染五郎の言葉と関連する写真を掲載している。

○ 音楽って何だろう 「自分の世界を広げるもの」

- ・人類進化学者 海部陽介の言葉と関連する写真を掲載している。

第2・3学年下

【資料の内容】

○ ルールを守って音楽を楽しもう！

- ・著作権及び著作隣接権について、イラストを掲載し、説明している。

○ 生活や社会の中の音や音楽 仕事と音楽

- ・社会の中にある音楽に関わる仕事について、写真を掲載し、説明している。
- ・音楽とSDGs、楽器とSDGsについて、写真とSDGsのマークを掲載し、説明している。

○ 耳でたどる音楽史

- ・日本と西洋の年表、それぞれの時代に関する写真や音楽家の肖像などを掲載し、説明している。

○ 音楽を形づくっている要素（第1学年に同じ）

○ 音楽の約束

- ・音符・休符・記号・用語について表を掲載している。

【巻頭の内容】

○ 今ここにしかない瞬間を大切に

	・ピアニスト 反田恭平の言葉と関連する写真を掲載している。 ○ 音楽って何だろう 「寄り添ってくれるもの」 ・アートディレクター 森本千絵の言葉と関連する写真ポスターを掲載している。
--	--

【音楽（一般）】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	⑦生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わるための工夫
方 法	○音楽文化に関する学習についての記載

発行者	調査・研究内容
教出	【世界の諸民族の音楽についての記載（我が国の音楽は除く）】 世界のさまざまな芸能や音楽（第2・3学年下） ○ 題材名 ・多様な芸能や音楽の表現を鑑賞しよう。 ○ 活動のポイント ・音楽と物語との関わりを理解して鑑賞しよう。 ・物語を表現する音楽の多様性を聴き取ろう。 ○ 中国、アメリカ、朝鮮半島、インドネシアの特徴的な芸能や音楽について写真を掲載し、説明している。 ・ジンジュ〈京劇〉「西遊記」から（中国）、ミュージカル「レ・ミゼラブル」から（アメリカ）、パンソリ（朝鮮半島）、ワヤン・クリ（インドネシア）を取り上げ、写真を掲載し、説明している。 ○ 2つの話し合う活動を設定している。
教芸	【世界の諸民族の音楽についての記載（我が国の音楽は除く）】 世界の諸民族の音楽（第2・3学年下） ○ 学習目標 ・世界のさまざまな楽器の音楽を味わおう。 ○ 活動文 ・楽器の音色、リズム、旋律の特徴などに注目しながら、それぞれの音楽のよさや美しさを味わって聴きましょう。 ○ 考えたいポイント ・世界各地のさまざまな音楽のよさや美しさは、音楽のどのようなところから感じられるだろう。 ○ 背景に世界地図を掲載し、その上に各地の楽器の写真を㊦㊧㊨のマークを付けて掲載している。また、その中から、㊦タンソ（朝鮮半島）、㊧ウード（アラブ諸国）、㊨タブラー（北インド）を取り上げ、写真を掲載し、説明している。

【音楽（一般）】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑧我が国の音楽に関する内容の扱い
方 法	○学年ごとに扱う鑑賞教材及び歌唱教材（歌唱共通教材を含む）

発行者	調査・研究内容
教出	【鑑賞教材及び歌唱教材（歌唱共通教材を含む）】 第1学年 ○ 鑑賞教材 郷土のさまざまな民謡、箏曲「六段の調」、日本とアジアをつなぐ音、尺八曲「鹿の遠音」、日本とアジアの声によるさまざまな表現 ○ 歌唱教材 ソーラン節、かりぼし切り歌 歌唱共通教材：夏の思い出、赤とんぼ 第2・3学年上 ○ 鑑賞教材 雅楽「越天楽」、能「羽衣」キリから「東遊びの数々に～」の部分、能「敦盛」キリから「波の打物抜いて～」の部分、郷土の音楽や芸能 ○ 歌唱教材 歌唱共通教材：浜辺の歌、早春賦、花の街 第2・3学年下 ○ 鑑賞教材 歌舞伎「勧進帳」、文楽「義経千本桜」から二段め 大物浦の段 ○ 歌唱教材 長唄「勧進帳」をうたおう 歌唱共通教材：花、荒城の月
教芸	【鑑賞教材及び歌唱教材（歌唱共通教材を含む）】 第1学年 ○ 鑑賞教材 雅楽「平調 越天楽」一管絃一、箏曲「六段の調」、日本の民謡 ○ 歌唱教材 ソーラン節 歌唱共通教材：浜辺の歌、赤とんぼ 第2・3学年上 ○ 鑑賞教材 歌舞伎「勧進帳」、文楽「新版歌祭文」から“野崎村の段” ○ 歌唱教材 長唄「勧進帳」から、義太夫節「野崎村の段」から 歌唱共通教材：夏の思い出、荒城の月

	第2・3学年下 ○ 鑑賞教材 尺八楽「巢鶴鈴慕」、能「敦盛」 ○ 歌唱教材 謡「敦盛」から 歌唱共通教材：花、花の街、早春賦
--	---

【音楽（一般）】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑨教材の配列及び分量
方 法	○教材の配列とその具体例及び目次に示された領域ごとの教材数

発行者	調査・研究内容																			
教出	〈教材の配列〉 【領域・分野】 ○ 全学年 ・「歌唱」 ・「鑑賞」 ・「創作」 【資料等】 ○ 全学年 ・音楽を形づくっている要素 ・資料 ・歌のアルバム ・全校合唱 ・〔国歌〕君が代 ・資料 ○ 「Sing! Sing!」（第1学年及び第2・3学年上に掲載）及び「Let's Try!」については、関連する教材に付帯して配列している。 〈具体例〉（教材数） 【第1学年】 ・歌唱（11） ・鑑賞（8） ・創作（2） ・音楽を形づくっている要素（1） ・Sing! Sing!（3） ・Let's Try!（4） ・資料（7） ・歌のアルバム（9） ・全校合唱（1） ・〔国歌〕君が代（1） 〈目次に示された領域ごとの教材数〉 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">領域</th><th colspan="3">学年</th></tr> <tr> <th>第1学年</th><th>第2・3学年上</th><th>第2・3学年下</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歌唱</td><td>22</td><td>20</td><td>17</td></tr> <tr> <td>創作</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr> <td>鑑賞</td><td>8</td><td>8</td><td>6</td></tr> </tbody> </table>	領域	学年			第1学年	第2・3学年上	第2・3学年下	歌唱	22	20	17	創作	2	2	2	鑑賞	8	8	6
領域	学年																			
	第1学年	第2・3学年上	第2・3学年下																	
歌唱	22	20	17																	
創作	2	2	2																	
鑑賞	8	8	6																	

教芸	〈教材の配列〉 【領域・分野】 ○ 第1学年 ・「歌唱」 ・「鑑賞」 ・「創作」は関連する教材の後ろに配列している。 ・「鑑賞」に関連する「歌唱」の教材を後に配列している。 ○ 第2・3学年上及び第2・3学年下 ・「歌唱」 ・「創作」 ・「鑑賞」 ・「鑑賞」に関連する「歌唱」の教材を後に配列している。 【資料等】 ○ 第1学年及び第2・3学年下 ・特集 ・歌い継ごう日本の歌 ・心通う合唱 ・資料 ・国歌「君が代」 ○ 第2・3学年上 ・歌い継ごう日本の歌 ・心通う合唱 ・特集 ・資料 ・国歌「君が代」 ○ 「発声」「リズムで楽しもう」（第1学年及び第2・3学年上に掲載）「指揮」については、関連する教材に付帯して配列している。 〈具体例〉（教材数） 【第1学年】 ・歌唱（3） ・創作（1） ・歌唱（4） ・鑑賞（1） ・創作（1） ・鑑賞（5） ・歌唱（1） ・鑑賞（1） ・発声（1） ・リズムで楽しもう（3） ・指揮（1） ・特集（2） ・資料（2） ・歌い継ごう日本の歌（2） ・心通う合唱（9） ・歌「君が代」（1）
-----------	---

〈目次に示された領域ごとの教材数〉

領域	学年		
	第1学年	第2・3学年上	第2・3学年下
歌唱	20	18	17
創作	2	2	2
鑑賞	7	6	7

【音楽（一般）】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑩楽譜、イラスト・写真及びデジタルコンテンツの活用
方 法	○楽譜、イラスト・写真及びデジタルコンテンツの具体例

発行者	調査・研究内容
教出	【曲名】 歌唱「花」（第2・3学年下） 【楽譜】 ○ 全6ページのうち、3ページ目から6ページ目に掲載している。 【イラスト・写真】 ○ 隅田川の風景 ○ 隅田川岸の青柳 ○ 隅田川岸の桜の花 ○ 明治時代の隅田川の様子 ○ 風景版画「向鳶桜」 ○ 桜、風景（楽譜上部、右下） 【デジタルコンテンツ】 ○ 二次元コードを掲載し、範唱に合わせた風景の映像と歌詞の動画を掲載しているページに、アクセスできる。 【曲名】 鑑賞「魔王」（第1学年） 【楽譜】 ○ 全4ページのうち、後半の見開き2ページに、前奏と独唱部分の旋律を掲載している。 【イラスト・写真】 ○ モーリツ・フォン・シュヴァイント（画）（背景） ○ 作曲者及び作詞者の肖像画 ○ 「父」「子」「魔王」（イラスト）（楽譜左横） 【デジタルコンテンツ】 ○ 「Active!」において、二次元コードを掲載し、ワークシートがダウンロードできるページに、アクセスできる。
教芸	【曲名】 歌唱「花」（第2・3学年下） 【楽譜】 ○ 全6ページのうち、3ページ目から6ページ目に掲載している。 【イラスト・写真】 ○ 春の隅田川 ○ 柳 ○ おぼろ月 ○ 櫓 ○ 露にぬれた桜 ○ 作詞者及び作曲者

- 明治時代の花見の様子
- 桜等（イラスト）（楽譜周囲）

【デジタルコンテンツ】

- 二次元コードを掲載し、範唱に合わせた風景の映像と歌詞の動画を掲載しているページに、アクセスできる。
- 二次元コードを掲載し、パート別とカラピアノの音源を掲載しているページに、アクセスできる。また、「組歌「四季」」についての説明と、それぞれの旋律の一部の音源を掲載しているページに、アクセスできる。

【曲名】

鑑賞「魔王」（第1学年）

【楽譜】

- 全4ページのうち、前半の見開き2ページに、前奏と独唱部分の旋律を掲載している。

【イラスト・写真】

- 「語り手」「父」「子」「魔王」（イラスト）（楽譜左横）
- バリトン歌手及びピアニスト
- 作曲者及び作詞者（肖像画）

【デジタルコンテンツ】

- 二次元コードを掲載し、前奏と独唱部分の楽曲の音源及び楽曲と連動した楽譜を掲載しているページに、アクセスできる。また、ワークシートがダウンロードできるページに、アクセスできる。

【音楽（一般）】

観 点	内容の表現・表記
視 点	①特別支援教育へ配慮した構成及びデザインの工夫
方 法	○ユニバーサルデザインに配慮した示し方

発行者	調査・研究内容
教出	【ユニバーサルデザインに配慮した示し方】 ○ 本文の書体は、ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 紙面全体や、図版やイラスト等について、カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ・領域・分野ごとに基本色を設定し、ページ左端もしくは右端にそれぞれの基本色の枠を設け「題材名」を示している。 ○ ページ左端もしくは右端に縦書きで「題材名」、ページ上部に「教材名」、教材名の下部に「活動のポイント」と、紙面構成を統一している。 ○ 複数の教材において、文字を写真中に掲載するときに無地の部分に配置している。
教芸	【ユニバーサルデザインに配慮した示し方】 ○ 本文の書体は、ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 紙面全体や、図版やイラスト等について、全ての生徒の色覚特性に適応することを目指してデザインされている。 ・領域・分野ごとに基本色を設定し、ページ左端もしくは右端にそれぞれの基本色の枠を設け、「学習目標」と「音楽を形づくっている要素」を示している。 ○ ページ左端もしくは右端に縦書きで「学習目標」、学習目標の下部に「音楽を形づくっている要素」、ページ上部に「教材名」、教材名の下部に「活動文」と、紙面構成を統一している。 ○ 複数の教材において、文字を写真中に掲載するときに無地の部分に配置している。

令和6年 7 月 25 日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員

種目 音楽(器楽合奏)

代表者 呉市立広南中 学校

氏名 泉谷 正則

呉市教科用図書（中学校・義務教育学校（後期課程））調査・研究

報告書について（報告）

このことについては、別添のとおりです。

【音楽（器楽合奏）】

観 点	知識及び技能の習得
視 点	①器楽分野の知識及び技能の習得を図るための工夫
方 法	○リコーダーにおける知識及び技能に関する記載

発行者	調査・研究内容
教出	【分類】 リコーダーの特徴、歴史に関する記載 【内容】 ○ 歴史に関する記述 ・リコーダーと同じ発音原理の「ふえ」は古代より世界各地に分布しています。 ・ヨーロッパでは15世紀から18世紀前半（ルネサンスからバロック）に、宮廷や教会において、独奏や合奏で使用されるようになりました。 ・20世紀に入るとリコーダーの特性が見直され、現在では音楽の多様化とあわせてさまざまなジャンルで活躍しています。 ○ 各部の名称 ○ リコーダーの変遷 ・ルネサンスのリコーダー ・バロックのリコーダー 【分類】 奏法、身体の使い方に関する記載 【内容】 ○ 運指が共通の音の例 ○ 姿勢とかまえ方 ○ 指穴の番号と指番号 ○ チューニング ○ タンギング ○ サミング ○ アーティキュレーション ○ リコーダー運指表 【分類】 演奏する順番 【内容】 ○ 一つの音で吹いてみよう ○ 左手で吹こう① ○ 左手で吹こう② ○ 右手を加えてみよう ○ サミング ○ 音域を広げよう ○ アーティキュレーション
教芸	【分類】 リコーダーの特徴、歴史に関する記載 【内容】 ○ 歴史に関する記述

- ・リコーダーは、ヨーロッパ各地で古くから演奏されていました。16世紀頃には、独奏や合奏、歌や踊りの伴奏などで盛んに用いられるようになりました。
- ・17世紀後半に、現在のようなジョイント（継ぎ目）のある形に改良され、ピッチ（音の高さ）の調整が可能となり、音域も広がりました。
- ・18世紀頃には、ヴァイオリンなどと並ぶ重要な独奏楽器となり、ヴィヴァルディやバッハなどの作曲家が、リコーダーの活躍する作品を残しました。
- ・ジョイントのないリコーダー、ジョイントのあるリコーダー

- 各部の名称
- 音域
- 楽器の手入れ
- リコーダーの種類
- リコーダーの仲間

【分類】

奏法、身体の使い方などに関する記載

【内容】

- 姿勢と構え方
- トーン ホール番号と指番号
- チューニング
- タンギング
- サミング
- アーティキュレーション
- リコーダー運指表

【分類】

演奏する順番

【内容】

- LESSON1 [左手による運指]
- LESSON2 [両手による運指]
- LESSON3 [サミング]
- LESSON4 [高い音、＃や♭の付く音]

【音楽（器楽合奏）】

観 点	知識及び技能の習得
視 点	②題材の学習目標等の示し方
方 法	○学習目標等の表記の仕方及び目標達成のための支援の具体例

発行者	調査・研究内容
教出	＜ギターにおける学習目標等の表記及び目標達成のための支援の具体例＞ 【学習目標等の表記の仕方】 ○ アニー・ローリー ・右手の使い方と左手の運指に注意して演奏しよう。 ○ Happy Birthday to You ・ギターの音色を聴き取りながら表現しよう。 ○ カントリー・ロード ・コードと旋律の響きを感じ取って演奏しよう。 ○ エチュード ・アル・アイレ奏法を用いてアルペッジョを弾いてみよう。 ○ アニー・ローリー ・曲想を生かし、全体の響きを感じ取って演奏しよう。 【目標達成のための支援の具体例】 ○ 姿勢とかまえ方について、正面からと側面からの写真を掲載し、説明している。 ○ 数字やアルファベットを使って、演奏で使用する指の名称について、右手と左手の写真を掲載するとともに押さえ方について説明している。また、写真の中に指の記号と番号を示している。 ○ チューニング（調弦）について、ヘッド部分のイラストと第①弦から第⑥弦までの開放弦の音の楽譜を掲載し、説明している。また、チューナーの写真を掲載し、説明している。 ○ アポヤンド奏法とアル・アイレ奏法について、右手で弦を弾いている写真を掲載し、説明している。 ○ コードの押さえ方について、4つのコード（G、D7、C、Em）のダイヤグラム（運指図）と右手で弦を押さえている写真を掲載し、説明している。 ○ ストローク奏法について、「ダウン・ストローク」と「アップ・ストローク」の右手で弦を弾いている写真を掲載し、説明している。また、ピックと持ち方について写真を掲載している。
教芸	＜ギターにおける学習目標等の表記及び目標達成のための支援の具体例＞ 【学習目標等の表記の仕方】 ○ カントリー ロード ・下の「リズムパターンの例」を参考にして、ストローク奏法で演奏しましょう。 ○ 大きな古時計 ・奏法を選んで、曲にふさわしい表現を工夫して演奏しましょう。 ・上のG1に伴奏パートを加えて、G2はアル アイレ奏法で、G3は奏法を選んで演奏しましょう。

【目標達成のための支援の具体例】

- 姿勢と構え方について、正面からと側面からの写真を掲載し、説明している。その中で、左手と右手の写真を掲載するとともに押さえ方について説明している。
- 指の番号と記号について、両手のイラストを掲載し、説明している。また、イラストの中に指の番号と記号を示している。
- チューニング（調弦）について、ヘッド部分のイラストと第①弦から第⑥弦までの開放弦の音の楽譜を掲載し、説明している。また、チューナーの写真を掲載し、説明している。
- アポヤンド奏法とアル アイレ奏法について、指のイラストを掲載し、説明している。
- コードの押さえ方について、4つのコード（G、D、Em、C）のダイヤグラム（運指図）と右手で弦を押さえているイラストを掲載し、説明している。
- ストローク奏法について、「ダウン ストローク」と「アップ ストローク」の右手で弦を弾いている写真を掲載し、説明している。また、ピックの持ち方について写真を掲載している。

【音楽（器楽合奏）】

観 点	思考力、判断力、表現力等の育成
視 点	③音楽的な見方・考え方を働かせる工夫
方 法	○音楽表現を創意工夫する学習の記載内容

発行者	調査・研究内容
教出	【曲名】 どこかの街で 不思議な旋律PART1 【音楽を形づくっている要素】 ・音色 ・速度 ・強弱 ・旋律 ・構成 【記載内容】 ○ グループに分かれて「基本形」を演奏します。速度や強弱などは、グループで話し合 って確認しておきましょう。 ・「基本形」の「旋律」と「伴奏」の楽譜を掲載している。 ○ 「基本形」に慣れたら、オプションパート「伴奏A」～「伴奏D」から選んで加えて演奏して みよう。旋律はアーティキュレーションを工夫したり、「ラ」や「ル」など声で表現 したりしてみよう。 ・オプションパートの「伴奏A」～「伴奏D」の楽譜を掲載している。 ○ 「基本形」にオプションパートを加え、構成を工夫した形が仕上がったら、グループ ごとに発表してみよう。 ・演奏の例を示すとともに、構成を書き込む表を設けている。
教芸	【曲名】 風にのって 【音楽を形づくっている要素】 ・リズム ・テクスチャ ・強弱 ・構成 【記載内容】 ○ 曲は「ア」「イ」の2つの部分で構成されています。演奏を聴いたり1と2のパートの リズムを演奏したりして、それぞれの部分で各パートのリズムや強弱、音の重なり 方にどのような特徴があるのかを確かめましょう。 ・「ア」「イ」の部分について、それぞれキャラクターの吹き出しで考える観点を例示し ている。 ○ 演奏順序は「ア→イ→ア」になっています。①で確かめたことをもとに、それぞれの 部分をどのように演奏したいのかを考え、表現の仕方を工夫しましょう。

	・注目するポイントとして、音楽を形づくっている要素を示し、キャラクターの吹き出しで考える観点を例示している。
--	--

【音楽（器楽合奏）】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	④興味・関心を高めるための工夫
方 法	○資料及び巻頭の内容

発行者	調査・研究内容
教出	【資料の内容】 ○ 打楽器 ・「小太鼓（スネアドラム）」「大太鼓（バスドラム）」「ボンゴ」「コンガ」「カホン」について、演奏している写真を掲載し、説明している。 ○ リコーダー運指表 ・リコーダーの運指表を掲載し、リコーダーの変遷について、写真を掲載し、説明している。また、リコーダーの種類についての写真を掲載している。 ○ ギター&キーボード コード表 ・それぞれのコードについて、ダイアグラム、コードを押さえた写真、和音の楽譜、押さえる鍵盤を示したキーボードのイラストを掲載している。 ○ いろいろな用語、記号 ・速度や速度の変化、強弱や強弱の変化、反復、階名と音名について表や楽譜を掲載している。 【巻頭の内容】 ○ 「LET'S PLAY MUSIC!」と題し、世界のいろいろな楽器の演奏写真、演奏者名を掲載している。 ○ 「音楽のチカラで人と社会を未来へつなぐ」と題して、兵庫県、佐賀県、宮城県に設置されているストリート・ピアノの写真を掲載している。
教芸	【資料の内容】 ○ 日本の伝統音楽の楽器編成 ・「雅楽」「能・狂言」「歌舞伎（長唄）」「文楽（義太夫節）」「三曲合奏」「郷土の芸能、民謡など」の演奏している写真と主要な楽器の写真を掲載している。 ○ バンドの世界をのぞいてみよう ・バンドの写真とスコア（楽譜）の一部を掲載している。 ○ 伝統の枠を超えて活躍する和楽器 ・「尺八とマリンバ」「箏とオーケストラ」「津軽三味線とバンド」の演奏している写真を掲載している。 ○ リコーダーの運指表 ・リコーダーの運指表を掲載し、「替え指を活用しよう」について説明し、リコーダーの仲間について、写真を掲載し、説明している。 ○ ギター/キーボード コード表 ・それぞれのコードについて、ダイアグラム、コードを押さえたイラスト、和音の楽譜、押さえる鍵盤を示したキーボードのイラストを掲載している。 ○ 楽器の図鑑 ・「世界の諸民族の音楽」として、ズルナ、バグパイプ、サンポーニャ、クンダン、ジェンベ（ジャンベ）、モリンホール（馬頭琴）、コラの写真を掲載している。

○ 音楽の約束

- ・ 音符・休符・記号・用語について、表や楽譜で掲載している。

○ 楽しもう！和楽器の音楽

- ・ 太鼓と箏について、演奏している写真、写真の説明、「中学生にインタビュー」を掲載している。

【巻頭の内容】

- 「さっきのドラムソロやったの、誰だ？」と題し、石若駿の写真と言葉、ドラムを演奏している写真を掲載している。

- 「音楽って何だろう？じぶんの、そして、ひとのもの」において、さまざまな楽器の演奏写真とともに、小沼純一の写真と言葉を掲載している。

【音楽（器楽合奏）】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	⑤生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わるための工夫
方 法	○音楽文化に関する記載

発行者	調査・研究内容
教出	【世界の諸民族の音楽に関する記載（我が国の音楽は除く）】 ○ LET' S PLAY MUSIC! ・バーンスリー、アパラチアン・ダルシマーを演奏している写真を掲載している。 ○ 発展 吹く楽器の仲間たち ・スリン、ケーナ、バーンスリーを演奏している写真を掲載し、楽器について説明している。 ○ 発展 弾く楽器の仲間たち ・背景に世界地図を掲載し、その上に、リュート、バラライカ、ピーパー、マンドリン、カーヌーン、ゲージョン、ウッド、カヤグム、トンコリ、サンシエン、アパラチアン・ダルシマー、ウクレレ、バンジョー、チャランゴの写真と説明を掲載している。
教芸	【世界の諸民族の音楽に関する記載（我が国の音楽は除く）】 ○ 音楽って何だろう？ ・シーク・ボンゴ、チャンゴ、イプヘケ、アイタ、バグパイプ、ンビラ、カヤグム、ガルベ・タンブラン、ディジェリドゥを演奏している写真を掲載している。 ○ 楽器の図鑑 ・世界の諸民族の楽器として、ズルナ、バグパイプ、サンポーニャ、クンダン、ジェンベ（ジャンベ）、モリンホール（馬頭琴）、コラの写真を掲載している。

【音楽（器楽合奏）】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑥我が国の音楽に関する内容の扱い
方 法	○和楽器に関する教材の扱い

発行者	調査・研究内容
教出	〈和楽器に関する教材の扱い〉 【配列（各楽器単独で扱っているページ数）】 篠笛（５ページ）→尺八（２ページ）→箏（８ページ）→三味線（７ページ）→太鼓（６ページ） 【縦譜】 さくらさくら（独奏・二部合奏）、荒城の月、六段の調、こきりこ節、もののけ姫 【楽器ごとの楽曲（鑑賞曲も含む）】 篠笛 …たこたこあがれ、ひらいたひらいた、さくらさくら、子守歌、長唄「越後獅子」、一番星見つけた、夜空を見上げて（「一番星見つけた／夜空を見上げて」（三部合奏）） 尺八 …もういいかい、尺八曲「鹿の遠音」 箏 …さくらさくら（独奏・二部合奏）、荒城の月、箏曲「六段の調」、さくら変奏曲、こきりこ節（二部合奏）、もののけ姫（二部合奏）、赤とんぼ 三味線…さくらさくら、長唄「秋色種」から 虫の合方、長唄「鞍馬山」から セリの合方、長唄「勧進帳」から 寄せの合方 太鼓 …千の海響 望の章（太鼓、締太鼓三部合奏） 【合奏曲（異なる楽器編成）】 祭囃子（篠笛、締太鼓二部合奏） 長唄「勧進帳」から 寄せの合方（三味線、打楽器二部合奏） 【上記以外の和楽器に関する教材】 ○ 表現の仕方を調べてみよう PART-1 ○ 表現の仕方を調べてみよう PART-2
教芸	〈和楽器に関する教材の扱い〉 【配列（各楽器単独で扱っているページ数）】 箏（１０ページ）→三味線（６ページ）→太鼓（６ページ）→篠笛（３ページ）→尺八（３ページ） 【縦譜】 虫づくし、姫松、「六段の調」から“四段”、さくらさくら、少年時代、夏祭り 【楽器ごとの楽曲（鑑賞曲も含む）】 篠笛 …通り神楽、阿波おどり、たこ たこ あがれ、ほたるこい、もののけ姫 尺八 …鶴の巣籠（都山流本曲）、Amazing Grace、江戸子守唄、夕やけ こやけ 箏 …「手事」から第３楽章“輪舌”、千鳥の曲、虫づくし、姫松、「六段の調」から“四段”、さくらさくら、少年時代、夏祭り 三味線…長唄「鏡獅子」から、津軽三味線「津軽じょんがら節」、こきりこ、荒城の月 太鼓 …TAIKO POWER、エイサー、風によって

	【合奏曲（異なる楽器編成）】 MATSURI（篠笛、締太鼓、長胴太鼓三部合奏） 「寄せの合方」によるリズムアンサンブル（三味線、太鼓、小鼓三部合奏） 【上記以外の和楽器に関する教材】 ○ 日本の伝統音楽の楽器編成 ○ 伝統の枠を超えて活躍する和楽器 ○ 楽しもう！和楽器の音楽
--	--

【音楽（器楽合奏）】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑦教材の分量及び構成
方 法	○楽器別カテゴリー別教材数、合奏・アンサンブルのカテゴリー別教材数及び内容の構成

発行者	調査・研究内容									
教出		楽器別							合奏・アンサンブル	内容の構成
		リコーダー	ギター	箏	三味線	太鼓	篠笛	尺八		
	クラシック音楽	8	1						6	① リコーダー
	我が国の音楽（民謡、わらべうた、日本歌曲等）	2		4	1		5	1	6	② 篠笛 ③ 尺八 ④ ギター
	世界の民謡		2						2	⑤ 箏
	映像に関する音楽（映画、テレビ、ゲーム等）	1							6	⑥ 三味線 ⑦ 太鼓
	その他（ポピュラー音楽、オリジナル等）	9	3	2			1		11	⑧ 合奏（アンサンブル） ・Let's Play!
	計	20	6	6	1	※	6	1	31	・Let's Try! ⑨ 名曲旋律集 ⑩ 資料 ※太鼓の教材は「合奏・アンサンブル」に1曲あり。

	楽器別							合奏・アンサンブル	内容の構成
	リコーダー	ギター	箏	三味線	太鼓	篠笛	尺八		
クラシック音楽	5							2	① リコーダー ② ギター ③ 箏 ④ 三味線 ⑤ 太鼓 ⑥ 篠笛 ⑦ 尺八 ⑧ 打楽器 ⑨ アンサンブル曲 ⑩ 楽器でMelody ⑪ 資料 ※太鼓の教材は「合奏・アンサンブル」に1曲あり。
我が国の音楽（民謡、わらべうた、日本歌曲等）			4	1		2	1	3	
世界の民謡	2							3	
映像に関する音楽（映画、テレビ、ゲーム等）	1					1		5	
その他（ポピュラー音楽、オリジナル等）	6	2	2					12	
計	14	2	6	1	※	3	1	25	

【音楽（器楽合奏）】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑧楽譜、イラスト・写真及びデジタルコンテンツの活用
方 法	○楽譜、イラスト・写真及びデジタルコンテンツの具体

発行者	調査・研究内容		
教出	リコーダー		
	楽譜	イラスト・写真	デジタルコンテンツ
	○ 教材曲 ○ 運指に対応する音 ○ フレーズについて ○ アーティキュレーション ○ トリル	○ 各部の名称 ○ 運指が共通の音の例 ○ 指穴（トーン ホール）の番号と指番号 ○ ピッチの調整の仕方 ○ タンギング（図A、図B） ○ 運指 ○ 息のコントロールについて（キャラクター） ○ 演奏者 ○ 姿勢とかまえ方（アルト・リコーダー、ソプラノ・リコーダー） ○ サミング ○ 息のコントロールについて	○ 掲載曲やサミングについての動画 ○ アーティキュレーションについて、二つの奏法の音源
	箏		
	○ 教材曲 ○ 調弦法（平調子ホ音、二音） ○ 平調子 ○ 縦譜	○ キャラクター（「爪」〈姿勢とかまえ方〉〈親指による基本的な奏法〉を身につけて表現しよう。」「平調子の響きを生かして「荒城の月」の前奏をつくってみよう」） ○ 演奏者 ○ 各部の名称 ○ 弦名 ○ 柱の立て方 ○ 爪 ○ 姿勢とかまえ方 ○ 親指による基本的な奏法 ○ 奏法〈押し手〉 ○ 箏曲「六段の調」に挑戦！（図4図5）	○ 調弦法について、2つのパターンの平調子の音源 ○ 親指による基本的な奏法の動画 ○ 「六段の調」の三段の冒頭の動画

教 芸			
	楽譜	イラスト・写真	デジタルコンテンツ
	リコーダー		
	○ 教材曲 ○ 運指に対応する音 ○ タンギング ○ アーティキュレーション	○ 指穴（トーン ホール）の番号と指番号 ○ ピッチの調整の仕方 ○ タンギング ○ 運指 ○ 姿勢と構え方（口元、指） ○ 音の響かせ方 ○ こんな意識で合わせよう（①②③） ○ 演奏者 ○ 姿勢と構え方（正面、側面） ○ サミング ○ 楽器を知ろう（ジョイントのないリコーダー、ジョイントのあるリコーダー） ○ 各部の名称 ○ LESSON 1（構え方、右手） ○ リコーダーの種類（8種類のリコーダー、リコーダーアンサンブル）	○ 演奏者の情報 ○ 姿勢と構え方、タンギングについての動画 ○ 教材曲の伴奏の音源 ○ 「学びのコンパス アーティキュレーションを工夫しよう」のワークシート
	箏		
	○ 教材曲 ○ 調弦（平調子、乃木調子） ○ 弾いてみよう ○ 縦譜	○ 演奏者 ○ 各部の名称 ○ 柱の立て方 ○ 爪 ○ 姿勢と構え方（上側、正面） ○ 基本的な奏法 ○ いろいろな奏法 ○ 箏のさまざまな演奏 ○ 箏と琴 ○ 糸の響き ○ 「姫松」	○ 演奏者の情報 ○ 基本的な奏法、いろいろな奏法についての動画

令和6年 7 月 25日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員

種目 美術

代表者 仁方中 学校

氏名 柳林 浩彦

呉市教科用図書（中学校・義務教育学校（後期課程））調査・研究

報告書について（報告）

このことについては、別添のとおりです。

【美術】

観 点	知識及び技能の習得
視 点	①〔共通事項〕の指導を充実させるための工夫
方 法	○造形的な視点の示し方及び具体例

発行者	調査・研究内容
開隆堂	【造形的な視点についての示し方】 ○ キャラクターの吹き出しに、コメントを示している。 【具体例】 第2・3学年 「語る彫刻」 ○ キャラクターのコメント ・表情、姿勢、体つきなどに注目してみよう。 【造形的な視点についての示し方】 ○ アイデアスケッチの吹き出しに、表現意図とともに示している。 【具体例】 第2・3学年 ○ 吹き出し ・11月の早朝、池のまわりで犬の散歩をしていたときでした。鳥が羽ばたく音にびっくりして池を見たら、魚を食べていました。きれいな色の鳥で、調べたらカワセミという鳥でした。 ・鳥が羽を広げている様子や、魚を見つけた瞬間の水面の様子を表したいと思いました。 ・カワセミがくちばしを川に突っ込んだ瞬間に、そのまわりに水しぶきが上がるのを強調したいな。 ・何色もの色を重ねることで、水の動きが表せそうだな。 【造形的な視点についての示し方】 ○ 生徒作品の「作者のことば」に、表現意図とともに示している。 【具体例】 第2・3学年 ○ 生徒作品・作者のことば ・雨が降った後の様子を再現しました。道路の汚れた感じが出るようにいろいろな色を使って塗りました。
光村	【造形的な視点についての示し方】 ○ 鑑賞と表現の活動のはじめや「POINT」に示している。 【具体例】 第2・3学年 「躍動感を捉える」

	○ 「鑑賞」 ・動きを捉えた作品を鑑賞して、躍動感を表すための工夫について考えてみよう。 ○ 「表現」 ・友達の生き生きとした動きを捉えて、作品に表そう。 ○ 「POINT」 ・この一瞬の動きを表すために、どのような工夫がされているのだろう。 【造形的な視点についての示し方】 ○ スケッチや写真の吹き出しに、表現意図とともに示している。 【具体例】 第2・3学年 ○ 動きを捉える ・テニス部の後輩がボールを打つ瞬間が、かっこいい。いろいろな角度からスケッチしてみよう。 ○ 形をつくる ・体の重心を意識しながら、粘土を付けていこう。 【造形的な視点についての示し方】 ○ 生徒作品の「作者の言葉」に、表現意図とともに示している。 【具体例】 第2・3学年 ○ 生徒作品・作者の言葉 ・競技かるたの公式戦に挑む、将来の自分を想像してつくりました。揺れる髪や衣服で、勢いよく札を取った瞬間のスピード感を表現しました。
日文	【造形的な視点についての示し方】 ○ 作品や写真の吹き出しに、「造形的な視点」を示している。 【具体例】 第2・3学年 上 「しぐさで語る動物たち」 ○ 「造形的な視点」 ・形や色彩の特徴、表情やしぐさに着目して効果を考えよう。 【造形的な視点についての示し方】 ○ 生徒作品の「作者の言葉」に、表現意図とともに示している。 【具体例】 第2・3学年 上 ○ 生徒作品・作者の言葉 ・背中を黒色だけでなく、青色や灰色を加えることでより本物らしくしました。 【造形的な視点についての示し方】

	○ 「鑑賞の入口」に、問いで示している。 【具体例】 第2・3学年 上 ○ 「鑑賞の入り口」 ・その動物らしさはどこから感じるのだろうか。 【造形的な視点についての示し方】 ○ 主文の中で、造形的な視点を基に思考することを促す文を示している。 【具体例】 第2・3学年 上 ○ あなたは動物のどんな姿に興味がありますか。迫力のある動きや可愛らしいしぐさなど、その生き生きとした姿は、私たちにさまざまなイメージをもたらしてくれます。 体の形や色彩、さりげない動き、何かを語りかけてくるような表情など、その動物らしさが伝わるのは、どのような瞬間でしょうか。それぞれの姿から作品のイメージを広げ、材料にも工夫して立体で表しましょう。
--	--

(注) [共通事項] とは、「A 表現」及び「B 鑑賞」の学習において共通に必要な資質・能力であり、造形的な視点を豊かにするために必要な知識に関する項目である。表現及び鑑賞の活動を通して、形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果を理解したり、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解したりする中で、造形的な視点を豊かにし、表現及び鑑賞に関する資質・能力を高めることをねらいとしている。

【美術】

観 点	知識及び技能の習得
視 点	②形や色彩、材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫
方 法	○形や色彩、材料や用具の取扱い等に関する記載及び具体例

発行者	調査・研究内容
開隆堂	第1学年 【形や色彩、材料や用具の取扱い等に関する記載】 ○ 巻末に「学びの資料」を設け、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を掲載している。 【具体例】 ○ 文字のデザイン ○ 著作権を知ろう ○ 発想・構想のヒント ○ 鑑賞ってなんだろう ○ 美術館へ行こう ○ 色彩と光 ○ 用具を知って使ってみよう 第2・3学年 【形や色彩、材料や用具の取扱い等に関する記載】 ○ 巻末に「学びの資料」を設け、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を掲載している。 【具体例】 ○ 展覧会をつくる ○ 奥行き表現 ○ 美術史の扉 ○ 量感表現 ○ 余白の美 ○ 紙の表現 ○ これってどう撮るの ○ 共に学ぶ美術 ○ 持続可能な未来へ ○ 世界遺産と美術 ○ 日本の伝統色 ○ 美術と私と社会
光村	第1学年 【形や色彩、材料や用具の取扱い等に関する記載】 ○ 巻末に「学習を支える資料」を設け、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を掲載している。 【具体例】

- 美術館を楽しもう
- 芸術祭へ行こう
- 美術鑑賞を楽しむ手がかり

第1・2・3学年共通

【形や色彩、材料や用具の取扱い等に関する記載】

- 別冊「美術1資料 つくってみよう見てみよう」に、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を掲載している。

【具体例】

- どうやって描く？
- 鉛筆で描く
- 水彩絵の具で描く
- アクリル絵の具で描く
- さまざまな描き方
- 版画で表す
- 文字をデザインする
- 端末を活用する
- どんな材料でつくる？
- 紙でつくる
- 粘土でつくる
- 木でつくる
- 金属でつくる
- 石でつくる
- 写真を撮影する
- 映像を制作する
- 発想・構想のために
- 自然の中の形・色・光
- 色の世界に出会う
- 色の特徴
- 色の効果と配色
- 日本と世界の伝統色図鑑

第2・3学年

【形や色彩、材料や用具の取扱い等に関する記載】

- 巻末に「学習を支える資料」を設け、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を掲載している。

【具体例】

- 学習を支える資料一覧
- 仏像について知ろう
- 美術史年表
- 日本の伝統工芸
- 北と南の民族衣装

日文	第1学年 【形や色彩、材料や用具の取扱い等に関する記載】 ○ 巻末に「学びを支える資料」を設け、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を掲載している。 【具体例】 ○ 火焰型土器 ○ 発想・構想の手立て① ○ 発想・構想の手立て② ○ どんなふうに描きたい？ ○ さまざまな技法で描く ○ 木版画 ○ 水墨画の表現 ○ 文字の基本 ○ 木でつくる ○ 粘土でつくる ○ 色彩の基本・仕組み ○ 美術館へ行こう 第2・3学年 上 【形や色彩、材料や用具の取扱い等に関する記載】 ○ 巻末に「学びを支える資料」を設け、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を掲載している。 【具体例】 ○ 岡本太郎“芸術はみんなのもの” ○ 暮らしに息づくパブリックアート ○ 立体を描く ○ 遠近感を表す ○ 人物をつくる ○ 北斎の大波 ○ 金属でつくる ○ 日本美術と世界の美術の歩み ○ 日本の伝統色 ○ 色彩の特徴を深く知る ○ 写真で表現する 第2・3学年 下 【形や色彩、材料や用具の取扱い等に関する記載】 ○ 巻末に「学びを支える資料」を設け、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を掲載している。 【具体例】 ○ さまざまなアートに触れよう
-----------	---

	○ 動画で表現する ○ 絵巻物の世界 ○ 仏像の種類 ○ 美術文化の継承 ○ 日本の世界文化遺産 ○ 受け継ぐ伝統と文化 ○ 世界の工芸品と色彩
--	--

【美術】

観 点	思考力、判断力、表現力等の育成
視 点	③表現と鑑賞の関連を図った学習活動の工夫
方 法	○表現と鑑賞の関連を図った学習活動の示し方及び具体例

発行者	調査・研究内容
開隆堂	【表現と鑑賞の関連を図った学習活動の示し方】 ○ 第1学年の「この教科書で美術を学習するみなさんへ」において、キャラクターの吹き出しで、表現と鑑賞のつながりを示している。 【具体例】 第1学年「教科書の使い方」 ・描いたりつくったりするだけじゃないんだね。 【表現と鑑賞の関連を図った学習活動の示し方】 ○ 作家や生徒作品及び作者の言葉を掲載することで、様々な材料の特徴を生かした表現の工夫を知り、それらを活用した表現活動へ展開できるようにしている。 ○ 「知識・技能」「発想・構想」「鑑賞」を表記し、相互に関連した学習の流れを示している。 【具体例】 第1学年「生き生きとした姿を表す」 ○ 作者のことば ・広島県の宮島で、おぼつかない足どりで歩いている子鹿に出会い、この子の生命感を連れて帰りたいたいと思い、アトリエに帰って制作しました。 ・座りながら物思いにふけている姿を表しました。 ・いろいろなポーズをした人体をつくって、校庭で友達と組み合わせました。 ・一瞬の動きの中のエネルギーを感じてもらうために色も工夫し、さらに躍動感を出すためにクリアファイルを切って目に見えないパワーを表しました。 ○ ①「鑑賞」 動きや対象の特徴に注目して鑑賞し、見方や感じ方を広げよう ②「発想・構想」 針金で人の動きを工夫しながら構想を広げよう ③「知識・技能」 さまざまな材料の特徴を理解して、表し方を工夫しよう 第2・3学年「イメージを形にして」 ○ 作者のことば ・私は鏡に映ったもう一人の私を見ることができます。では、鏡の向こうの私は誰を見ているのでしょうか。鏡の前の私と鏡の向こうの私は、相互に入れ替わり、見つめ合います。 この作品は、中央にわずかなすき間を開けて並ぶ一対の直方体の木材から彫り出しています。 中央のすき間を鏡に見立て、左右交互にチェーンソーで彫り進めました。

	彫り進めていくうちに現れた無数の凹凸や穴は、鏡に映った私であり、鏡に映った私も私自身を見つめ返してきます。作品を見返すことで私自身を見つめ、作品も私を見返してくるのです。 ・不安やプレッシャーに押しつぶされそうなときに、友達や先生に助けてもらって、心が落ち着いたときの気持ちを表しました。 ・黄色は自分の努力が報われたり、目標を達成したりしたときの気持ちで、まわりにへばりついているものはうまくいかなくて諦めそうになったときの気持ちです。今までがんばってきたことは必ずどこかでつながっていることを表しました。 ○ 「鑑賞」 抽象的な形で表した作品を鑑賞しよう 「発想・構想」 自分の表現したいイメージを考えて発想しよう 「知識・技能」 自分の表現したいイメージをもとに材料や表現方法を工夫しよう 「鑑賞」 パブリック・アートやインスタレーションの作品を鑑賞しよう
光村	【表現と鑑賞の関連を図った学習活動の示し方】 ○ 第1学年の「教科書を活用しよう」において、矢印で表現と鑑賞の学習活動のつながりを示している。 【具体例】 第1学年「教科書を活用しよう」 「鑑賞」 ・題材の初めに鑑賞の問いかけを示している。問いを手がかりに作品をよく見よう。 ↓ 「表現（発想・構想）」 ・発想を広げ、構想を練るための手だてを示している。 【表現と鑑賞の関連を図った学習活動の示し方】 ○ 作家や生徒作品及び作者の言葉を掲載することで、様々な材料の特徴を生かした表現の工夫を知り、それらを活用した表現活動へ展開できるようにしている。 ○ 「表現」と「鑑賞」のアイコンを表記し、相互に関連した学習の流れを示している。 【具体例】 第1学年「材料に命を吹き込む」 ○ 作者の言葉 ・どんな動物も顔からつくり始めます。顔ができると表情が生まれ、性別や性格が感じられるような気がして、その顔に合わせて材料を選び、体の動きや形、色を考えていきます。 ・学校の周辺で見つけた材料でつくりました。リスがどんぐりをくわえている感じが出るように工夫しました。

	・先の割れた流木が亀の頭のように見えたので、亀の形をつくりました。歌っているような口がポイントです。 ・幸運をもたらす幻の鳥です。材料には金属を使って、統一感を出しました。羽をきれいに神秘的に見せるために、形や色を工夫しました。 ○ ①「鑑賞」 ・材料の特徴をどのように生かしているだろう。 ・それぞれの作品の工夫を見つけてみよう。 ②「表現（発想・構想）」 ・材料の特徴を生かし、組み合わせて作品をつくろう。 第2・3学年「空想の世界へようこそ」 ○ 作者の言葉 ・2001年9月11日にアメリカで起こった同時多発テロ事件の翌年の作品です。ニューヨークの街は美しく、劇場やレストランはにぎわっているけれど、人々は精神的に何かに怯えているような印象を受けてこの絵を描きました。 ・世界から感染症が消えてみんなが楽しく生活する風景を、私の好きなフクロウに重ねて描きました。 ・大人になると失われてしまう純粋でファンタジーな心を、人一倍大事にしてきたのに、中学校に入ってからそれが少しずつ失われてきました。下の女の子は、そのかすかな変化に悲しみ絶望しながら、ココロの声を糸電話を通じて聞いています。 ○ 「鑑賞」 ・これらの作品を、作者の思いを想像しながら鑑賞してみよう。 「表現（発想・構想）」 ・自分の好きなもの、身近なものから想像を膨らませ、空想の世界を表そう。
日文	【表現と鑑賞の関連を図った学習活動の示し方】 ○ 第1学年の「ようこそ美術の学びへ」において、表現と鑑賞を関連させた学習の流れの例を示している。 【具体例】 第1学年「表現と鑑賞を組み合わせる学びを深めよう」 ○ 「鑑賞」 ・考える - その人らしさや心情はどこから感じられるのだろうか。 「表現」 ・生かす - 描きたい人のその人らしさやイメージを表そう 「鑑賞」 ・確かめる - 完成作品からお互いの工夫を読み取る 【表現と鑑賞の関連を図った学習活動の示し方】 ○ 作家や生徒作品及び作者の言葉を掲載することで、様々な材料の特徴を生かした表現の工夫を知り、それらを活用した表現活動へ展開できるようにしている。

- 題材名の下に＜鑑賞の入り口＞を示している。

【具体例】

第1学年「材料に命を吹き込む」

○ 作者の言葉

- ・空缶を見た時に、何かの殻っぽいと思いひらめました。
- ・私の作品を見てくださった方が、身の回りから材料を探して送ってくれることがあります。自分では選ばない材料は、新たな発想を広げてくれます。作品を通じて人とつながりも感じます。
- ・電話ケーブルを羊毛のように、受話器を足のように使用できることに気づいた時にテレフォンシーブは完成したのです。

○ ＜鑑賞の入り口＞

- ・材料の特徴が、生き物にどのように生かされているだろうか。

第2・3学年 上「イメージを形にすると」

○ 作者の言葉

- ・学校生活がどんどん大変になっていく様子を表現しました。高校はわからないので粘土はつけていません。
- ・人それぞれが全く違う感情や個性を持っていることを、たくさん色で表しました。ひも状の羊毛一つ一つが他のものとかからみ合っているのは、人と人が複雑につながり合っていることを表現しています。
- ・ダンスの発表会で、みんなで思いっきり踊れた楽しい気持ちを明るい色で表現しました。

○ ＜鑑賞の入り口＞

- ・作者の感覚やイメージが、どのように表現されているだろうか。

第2・3学年 下「空想の中の不思議な世界」

○ 作者の言葉

- ・雨のどんよりとした空気の中で筆を一気に動かすと、そこが光輝く花畑となります。嫌なことがあっても工夫することで、楽しい美しい世界に変わるという思いを表現しました。
- ・授業中の「甘いパンが食べたい」という気持ちと「寝たい」という気持ちを表しました。アップルパイを本物っぽくするために、粘土を編んでつくりました。
- ・「外国のすてきな家に住みたい」という幼少期のころの夢を想像しながら描きました。時々よみがえる無邪気な思い出たちも忘れたくないという願いも込めました。

○ ＜鑑賞の入り口＞

- ・作品の不思議な印象は、どこからもたらされているのだろうか。

【美術】

観 点	思考力、判断力、表現力等の育成
視 点	④表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫
方 法	○発想・構想、鑑賞の場面における言語活動の示し方及び具体例

発行者	調査・研究内容
開隆堂	【言語活動の示し方及び具体例】 <発想・構想の場面> 第1学年 巻末資料「学びの資料」 ○ 「発想・構想のヒント」のページを設け、デザイナーが創作活動をする際の具体的な言語活動や、生徒が学習の中で発想・構想する方法を示している。 「制作するときの手掛かりにしよう」 ・「観察する」「話し合う」「調べる」「試す」「考えを整理する」 第2・3学年「生活を楽しく心地よく」 ○ 発想・構想に向けて、ワークシートやアイデアスケッチ、生徒作品や作者のことばを示している。 「ワークシート」 ・住む人の特徴や趣味から思いつくことを書き出そう。 ・スケッチをして部屋の雰囲気を具体的に考えよう。 「作者のことば」 ・住む人の特徴に合わせて暖かくて柔らかな雰囲気にしました。 ・本がたくさんある部屋にあこがれて、階段や机などの家具の形にこだわりました。本の日焼けを防ぐために窓はなくし、どこにどんな本があると手に取りやすいかを考えながらデザインしました。 ・宇宙で暮らす人のための部屋を考えました。いつでも外に出られるように宇宙服を置き、窓から地球や星がよく見えるようにデザインしました。 <鑑賞の場面> 第1学年 巻末資料「鑑賞ってなんだろう」 ○ 巻末に「鑑賞ってなんだろう」として、鑑賞活動の流れやポイント等について示している。 ・作品と向き合おう ・自分なりの根拠をもって意味づけよう ・さまざまな視点から見よう ・見方や考え方はたくさんある だから伝え合おう 第2・3学年「目にとまる 心にとまる」 ○ キャラクターの吹き出しに、話し合いを促す記述を示している。 ・それぞれの作品がどうして目や心にとまるのかを友達と話し合ってみよう。
光村	【言語活動の示し方及び具体例】 <発想・構想の場面> 別冊「美術1資料 つくってみよう見てみよう」 ○ 「発想・構想のために」のページを設け、生徒が学習の中で発想・構想する際

	の方法を示している。 ・広げる（マッピング、9マスの表） ・焦点化する（ピラミッドチャート） ・比べる（ベン図） ・多面的に見る（レーダーチャート） 第2・3学年「地域の魅力を表すパッケージ」 ○ 発想・構想に向けて、アイデアスケッチ、生徒作品や作者の言葉を示している。 「作者の言葉」 ・大阪城は桜で有名ですが、夏、秋、冬もそれぞれ魅力があることを伝えるため、箱の側面を使って四季を表しました。 ・誰でも手に取りやすいようにシンプルにしました。外国から来た観光客向けに、商品名は英語でも表記し、上面には、はんこ風に「秋田県産枝豆」と描いてアクセントにしました。 ・タンチョウが集まる釧路湿原の緑と、夕日の輝きをイメージして色を決めました。タンチョウらしさを表しつつ、持ちやすい形にするために、羽の部分を工夫しました。 <鑑賞の場面> 第1学年 巻末資料「美術鑑賞を楽しむ手がかり」 ○ 巻末資料に、鑑賞活動の流れやポイント等について示している。 ①じっくり見る ②自分なりに考える ③調べる ④まとめる ○ 国語科とのつながりとして、「美術鑑賞を広げる言葉」を掲載している。 ・[印象を表す言葉] [気持ちを表す言葉] [美術でよく使われる言葉] 第2・3学年「形や材料で比べる」 ○ 題材名の下に、話し合いを促す記述を示している。 ・形や材料、大きさ、重さなどに着目して、誰がどんな場面で使うカップなのか話し合ってみよう。
日文	【言語活動の示し方及び具体例】 <発想・構想の場面> 第1学年 巻末資料「学びを支える資料」 ○ 「発想・構想の手立て」のページを設け、アーティストが創作活動をする際の具体的な言語活動や、生徒が学習の中で発想・構想する際の方法を示している。 ・「発想・構想の手立て①」アーティストはどうやって作品をつくるんだろう？ 「きっかけを探す」「発想する」「構想する」 ・「発想・構想の手立て②」みんなはどうやって作品をつくる？ 「鑑賞する～発想のきっかけを探そう～」 「発想する～イメージをとらえて広げよう～」 「構想する～どうつくるか考えよう～」

「制作する～考えを形にしよう～」

「発表・展示する」

第2・3学年 下「魅力を伝えるパッケージ」

- 発想・構想に向けて、「表現のヒント」、アイデアスケッチ、生徒作品や作者の言葉、「造形的な視点」を示している。

「表現のヒント」

- ・パッケージを調べる
- ・企画書を作成する
- ・イメージや構想を発表し合う

「作者の言葉」

- ・和菓子和洋菓子を同時に楽しめるお菓子をつくろうと思い、パッケージは和と洋の違いを対比させる色やデザインを考えて表現しました。

「造形的な視点」

- ・受け取る人の気持ちを考えて形や色彩をイメージしよう。

<鑑賞の場面>

第1学年「鑑賞との出会い」

- 巻頭に「オリエンテーション」として、鑑賞活動の対象やポイント等について示している。

- ・対象から感じ取った「美しいな」「いいな」という思いを大切に、感じたことを言葉にして、友だちと意見を交わしながら見方や感じ方を豊かに広げ、深めていきましょう。
- ・友だちと作品について話してみよう。

第2・3学年 下「住み続けられる町づくり」

- 題材名の下の<鑑賞の入り口>に問いを示している。

- ・その場所から安らぎや快適さが感じられるのは、なぜだろうか。

【美術】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	⑤興味・関心を高めるための工夫
方 法	○表現及び鑑賞への興味・関心を高めるための工夫及び具体例

発行者	調査・研究内容
開隆堂	第1学年 <表現> 【興味・関心を高めるための工夫】 ○ 生徒の作品を掲載するとともに、生徒の活動の様子を写真や吹き出しで示したり、生徒作品と作者の言葉で主題や表現の意図を示したりしている。 【具体例】 「スケッチブックから広がる」 ○ 吹き出し ・描いたスケッチブックを見返すと、その時のことを思い出したり、新しい発見をしたりすることができるね。 ○ 「作者のことば」 ・思い出の場所や、愛着のあるものなどのスケッチを集めたマイ・スケッチブックをつくって、みんなで見せ合いました。 ・ランドセルを開閉させたり、見る角度や方向を変えたりすることで、印象が変わることに注目しながら描きました。 ・家で一緒に暮らしている猫の姿を描くことを毎日の習慣にしています。 ・ガードレールの外に見える空の色がとてもきれいだったので、絵の具を混ぜて空の色をつくり、スケッチに残しました。 <鑑賞> 【興味・関心を高めるための工夫】 ○ 作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で掲載し、作品の一部を拡大したり、原寸大の図版で示したりしている。 【具体例】 ・「ナポリの漁師の少年」ジャン＝パティスト・カルポー ・「いのちの木」富田菜摘 ・「風神雷神図屏風」俵屋宗達 ・「樹花鳥獣図屏風」伊藤若冲（原寸大） ・「ラグビー日本代表ユニフォーム」 ・「トンボの精」ルネ・ラリック（原寸大） ・「十二の鷹」鈴木長吉（原寸大） ・「白磁籠目菊花貼付壺」（原寸大） 第2・3学年 <表現> 【興味・関心を高めるための工夫】

	○ 生活や社会にある美術に関する写真を掲載するとともに、生徒の活動の様子を写真で示したり、生徒作品と作者の言葉を示したりしている。 【具体例】 「ひと目で伝える表示」 ○ 吹き出し ・この曲がり角で、友達とぶつかりそうになることがあるんだ。 ・再現した様子を写真に撮って参考にしよう。 ○ 「作者のことば」 ・一人一人が自然環境を大切に思い、守ろうとしてほしいという願いを込めてデザインしました。シャボン玉のようなものに葉が入っているイメージで、自然のはかなさを表しました。 ・災害が起こった際には中学校が避難所になります。避難所運営のための訓練に参加した私たちは、実際の避難所ではどのような役割が必要となるのか、どのように役割を示したらわかりやすいのかを考えながらピクトグラムをデザインしました。 <鑑賞> 【興味・関心を高めるための工夫】 ○ 作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で掲載し、作品の一部を拡大したり原寸大の図版で示したりしている。 【具体例】 ・展覧会の様子「荒木飛呂彦原画展 JOJO 冒険の波紋」荒木飛呂彦 ・「燕子花図屏風」尾形光琳 ・「興亡史」池田学（原寸大） ・「松林図屏風」長谷川等伯 ・「ムーラン・ド・ラ・ギャレットの舞踏会」オーギュスト・ルノワール ・「アルジャントウイユの橋」クロード・モネ（原寸大） ・「赤い浮標」ポール・シニャック（原寸大） ・「鳥獣人物戯画 甲巻」（原寸） ・「最後の晚餐」レオナルド・ダ・ヴィンチ ・「ピエタ」ミケランジェロ・ブオナローティ ・「モナ・リザ」レオナルド・ダ・ヴィンチ（原寸大） ・「双影体Ⅱ」戸谷成雄 ・「立体曼荼羅」 ・多治見市モザイクタイルミュージアム ・「螺鈿紫檀五絃琵琶」（原寸大） ・東京スカイツリー内のエレベーターにある江戸切子を使った装飾 ・伝統的な加賀友禅の着物 ・美術史の扉 ・「誕生」池田学 ・「手をたずさえる船」イリヤ&エミリア・カバコフ
光村	第1学年

<表現>

【興味・関心を高めるための工夫】

- 生徒の作品を掲載するとともに、生徒の活動の様子を写真で示したり、吹き出しや作者の言葉で主題や表現の意図を示したりしている。

【具体例】

「見つめ、感じ取り、描く」

- 吹き出し
 - ・小学校の入学式で履いた靴。うれしかったことを思い出して描こう。
- 作者の言葉
 - ・実際は黒いエナメルの靴ですが、入学式に集まってくれた祖父母や両親の笑顔を思い出しながら、温かみのある色合いで描きました。
 - ・メダルの立体感や色合いを表現するのが難しかったけれど、何度も実物を観察して、影の部分と光っている部分を表しました。
 - ・春の暖かさを表すため、淡い色を塗り重ねました。花の一つ一つがはっきり見えるように、細かいところまで描きました。

<鑑賞>

【興味・関心を高めるための工夫】

- 作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で掲載し、作品の一部を原寸大の図版で示している。

【具体例】

- ・「ムーラン・ド・ラ・ギャレットの舞踏場」オーギュスト・ルノワール
- ・「風神・雷神像」
- ・「風神雷神図屏風」俵屋宗達
- ・「火焰型土器 No. 1」(原寸大)
- ・「クオ・ヴァディス」北脇昇

第2・3学年

【興味・関心を高めるための工夫】

<表現>

- 生活や社会にある美術に関する写真を掲載するとともに、生徒の活動の様子を写真や吹き出し等で示したり、生徒作品と作者の言葉を示したりしている。

【具体例】

「わかりやすく情報を伝える」

校内に掲示するピクトグラム

- 吹き出し
 - ・廊下の曲がり角での衝突が多いな。危険であることを伝えるために、ぶつかる瞬間を表してみよう。
- 作者の言葉
 - ・ひと目で危険であることが伝わるよう、注意を引く黄色と黒を用いて制作した。衝突の起こりやすい曲がり角に掲示した。

	第2・3学年 【興味・関心を高めるための工夫】 <鑑賞> ○ 作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で掲載し、作品の一部や全体を拡大したり、紙質とページの大きさを変えたりして示している。 【具体例】 ・「パルナッソスへ」パウル・クレー（原寸大） ・「最後の晚餐」レオナルド・ダ・ヴィンチ ・「明日の神話」岡本太郎 ・「日本の絵画を楽しむ 五つのキーワード」 ・「鳥獣人物戯画 甲巻」（原寸大） ・「松林図屏風」長谷川等伯「燕子花図屏風」尾形光琳 ・「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」葛飾北斎（原寸大） ・「星月夜」フィンセント・ファン・ゴッホ ・「ゲルニカ」パブロ・ピカソ ・「阿修羅像」
日文	第1学年 【興味・関心を高めるための工夫】 <表現> ○ 作家や生徒の作品を掲載するとともに、表現のヒントや生徒の活動の様子を写真で示したり、作者の言葉で主題や表現の意図を示したりしている。 【具体例】 「見つめて、感じて、描いて」 ○ 「表現のヒント」 ・観察の仕方を工夫してみよう ○ 「作者の言葉」 ・光のあたり具合で変化する葉の色みを、いろいろな色を使って表しました。 ・いつも使っているホチキスの形が独特だと思ったので、描いてみました。 ・つやつやとおいしそうなさくらんぼを描いてみました。張りのある線で実の丸さを表し、色は光が透けるようなイメージで描いています。 ・金属のきらきら光っているところに魅力を感じたので、それが見た人に伝わるように表現しました。 <鑑賞> 【興味・関心を高めるための工夫】 ○ 作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で掲載したり、折って立てられるようにしたり、作品の一部を原寸大の図版で示したりしている。 【具体例】 ・「グランド・ジャット島の日曜日の午後」ジョルジュ・スーラ（原寸大） ・「風神雷神図屏風」俵屋宗達

- ・「唐獅子図屏風」狩野永徳
- ・「ラスコー洞窟壁画」
- ・「火焰型土器」(原寸大)

第2・3学年上・下

<表現>

【興味・関心を高めるための工夫】

- 生活や社会にある美術に関する写真を掲載するとともに、表現のヒントを示したり、生徒作品と作者の言葉を示したりしている。

【具体例】

「ひと目で伝わるみんなのデザイン」

- 「表現のヒント」
 - ・行為から発想してみよう。
- 「作者の言葉」
 - ・美術室の場所がみんなにわかるようなものを考えて、3色のパレットと絵筆を描きました。

<鑑賞>

【興味・関心を高めるための工夫】

- 作品全体を折り曲げの大型図版で掲載し、作品の全体を原寸大の図版で示している。

【具体例】

- ・「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」葛飾北斎(原寸大)
- ・「三世大谷鬼次の奴江戸兵衛」東洲斎写楽
- ・「婦女人相十品 ポッピンを吹く娘」喜多川歌麿
- ・「Shadows travelling on the sea of the day」オラファー・エリアソン
- ・「誕生」池田学(原寸大)
- ・「ゲルニカ」パブロ・ピカソ
- ・「鳥獣人物戯画 甲巻」

【美術】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	⑥生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わるための工夫
方 法	○生活や社会の中の美術の働きを示す具体例

発行者	調査・研究内容
開隆堂	【生活や社会の中の美術の働きを示す具体例】 第1学年 ○ 複数の題材に、生活の中の美術の働きについて考えるきっかけとなる写真等を掲載している。 ○ 「デザインや工芸など」のはじめに、特設ページを設け、生活の中の美術との関わりを具体的に示している。 ○ SDGs に関する造形的な取組や作品を紹介するマークを設け、生活の中の美術の働きを具体的に示している。 ・「廃材に命を吹き込む」 ・「静岡市プラモデル化計画ロゴマーク」 ・豊かな森を育成する ・「受け継がれていく文化財」 第2・3学年 ○ 複数の題材に、生活や社会とのつながりや美術の働きについて考えるきっかけとなる写真等を掲載している。 ○ SDGs に関する造形的な取組や作品を紹介するマークを設け、生活や社会の中の美術との関わりを具体的に示している。 ・受け継がれる伝統の技法 ・気候変動を食い止める手 ・言語の壁を越える絵文字 ・おいしさと安心をすべての人に ・みんなの活動を作品へ ・鉄塔の骨組みを生かして ・木のぬくもりを感じるスタジアム ・竹害を竹財に ・捨てずに資源として再利用する ・持続可能な未来へ
光村	【生活や社会の中の美術の働きを示す具体例】 第1学年 ○ 複数の題材に、生活の中の美術の働きについて考えるきっかけとなる写真等を掲載している。 ○ 「デザインや工芸など」のはじめに特設ページを設け、生活の中の美術との関わりを具体的に示している。 ・「デザインや工芸の世界」 ○ SDGs の17の目標との関連を示すマークを設け、生活の中の美術との関わりを具体的に示している。 ・SDGs 12「材料に命を吹き込む」

	・11 住み続けられるまちづくりを、15 陸の豊かさを守ろう「住み続けられる町づくり
--	--

【美術】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑦題材の配列
方 法	○題材数及び構成・配列

発行者	調査・研究内容						
開隆堂	学年	題材数				題材数 合計	構成・配列
		絵や彫刻など		デザインや工芸 など			
		表現及 び鑑賞	鑑賞	表現及 び鑑賞	鑑賞		
	1	5	1	4	1	1 1	○ 題材等を分野等に分けて配列している。 ・「絵や彫刻など」 ・「デザインや工芸など」 ・「学びの資料」
	2・3	8	5	7	2	2 2	
光村	学年	題材数				題材数 合計	構成・配列
		絵や彫刻など		デザインや工芸 など			
		表現及 び鑑賞	鑑賞	表現及 び鑑賞	鑑賞		
	1	8	3	5	3	1 9	○ 題材等を分野等に分けて配列している。 ・「絵や彫刻など」 ・「デザインや工芸など」 ・「学習を支える資料」 ※美術Ⅰに別冊で「資料 つくってみよう 見て みよう」
	2・3	7	7	5	5	2 4	

日文	学年	題材数				題材数 合計	構成・配列
		絵や彫刻など		デザインや工芸 など			
		表現及 び鑑賞	鑑賞	表現及 び鑑賞	鑑賞		
	1	7	3	6	2	18	○ 題材等を分野等に分けて配列している。 ・「絵や彫刻など」 ・「デザインや工芸など」 ・「学びを支える資料」
	2・3 上	6	3	7	1	17	
2・3 下	5	4	5	1	15		

【美術】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑧作品等についての示し方の工夫
方 法	○作品等や造形活動の示し方及び具体例

発行者	調査・研究内容
開隆堂	【作品等や造形活動の示し方及び具体例】 第1学年「イメージを伝える形」 ○ 社会の中で使われているマークを取り上げ、表現意図とともに示している。 ・ロゴタイプ ・シンボルマーク ・ロゴマーク ○ 作品とともに作者のことばや表現意図を示している。 ○ デザインと社会のつながりを示している。 ・文字の意味やイメージを伝える絵文字を考えよう ・身のまわりにあるロゴタイプの表現を楽しもう
光村	【作品等や造形活動の示し方及び具体例】 第1学年「印象に残るロゴマーク」 ○ 社会の中で使われているマークを取り上げ、表現意図とともに示している。 ・ロゴマーク ○ 作品と共に作者の言葉や表現意図を示している。 ○ デザインと社会のつながりを示している。 ・伝えたい内容からイメージを広げ、見る人の印象に残るロゴマークをつくらう。 ・これらは、美術館や博物館のロゴマークだ。それぞれ、何をもとにデザインされているのか、考えてみよう。
日文	【作品等や造形活動の示し方及び具体例】 第1学年「形や色で伝えるシンボルマーク」 ○ 社会の中で使われているマークを取り上げ、表現意図とともに示している。 ・シンボルマーク ・ロゴやマーク ○ 作品と共に作者の言葉や表現意図を示している。 ○ デザインと社会のつながりを示している。 ・自分や身近なもののマークを考えよう。 ・伝えたいイメージは、マークにどのように生かされているだろうか。

【美術】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑨デジタルコンテンツの活用
方 法	○デジタルコンテンツの扱い及び具体例

発行者	調査・研究内容
開隆堂	【デジタルコンテンツの扱い】 ○ 各題材の上の「CONTENTS」に二次元コードを示している。 ○ 巻末資料の一部に、二次元コードを示している。 【具体例】 第1学年「木版画の面白さ」 ○ 「CONTENTS」 ・はじめに ・木版画の技法 ・生徒作品 ・鑑賞シート ・ふり返りシート
光村	【デジタルコンテンツの扱い】 ○ 各題材において、題材名の横に二次元コードで示している。 ○ 鑑賞中心の題材等に二次元コードを示している。 ○ 美術1の表現の各題材において、見開きページ右上部に、別冊「美術1 資料 つくってみよう 見てみよう」の二次元コードの関連ページを示している。 ○ 美術2・3の表現の各題材において、見開きページ右上部に、巻末資料「学習を支える資料一覧」の二次元コードの関連ページを示している。 【具体例】 第1学年「版の表現を味わう」 ○ 全国の生徒作品を見てみよう。 ○ 「資料」p. 8～9「版画で表す」 ○ 「学習を支える資料一覧」 ・描く ・つくる ・色の世界 ・発想・構想
日文	【デジタルコンテンツの扱い】 ○ 各題材において、「学びのはじめに」に二次元コードを示している。 ○ 「表現のヒント」等に二次元コードを示している。 ○ 巻末資料「学習を支える資料」に、二次元コードを示している。 【具体例】 第1学年「刷って楽しむ版画の世界」 ○ 学びのはじめに ○ 版表現の種類について

	・資料を見よう ○ 木版画（学びを支える資料） ・技法を見よう
--	--